



2022年4月26日

各位

会社名 システムズ・デザイン株式会社
代表者名 代表取締役社長 隈元 裕
(コード:3766、東証スタンダード)
問合せ先 取締役管理本部長 長谷 賢一
電 話 03-5300-7800

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2021年5月13日に公表した2022年3月期の通期業績予想につきまして、下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 8,976	百万円 280	百万円 282	百万円 171	円 銭 50.40
今回修正予想 (B)	8,339	334	354	229	67.43
増減額 (B-A)	△637	53	71	58	—
増減率 (%)	△7.1	19.1	25.4	33.9	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	7,967	212	241	167	—

(2) 2022年3月期通期個別業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 6,309	百万円 158	百万円 117	円 銭 34.56
今回修正予想 (B)	5,832	250	184	54.27
増減額 (B-A)	△476	91	67	—
増減率 (%)	△7.6	57.9	57.1	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	5,589	156	133	—

2. 修正の理由

・2022年3月期通期連結業績予想数値の修正

2022年3月期においては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、想定していた受注の延期や顧客企業の投資抑制等による案件の減少がグループ全体に渡ってございました。

このため、売上高につきましては、当初の予想より減少する見通しとなりました。

一方で利益面につきましては、上記要因の影響があるなか、システム開発事業においては、外注費用の抑制に加え、開発支援ツールを活用した開発事業が前期に続き好調に推移したこと、アウトソーシング事業においては、オンサイト業務が好調に推移し、コスト構造の改善が順調に進んだこと、また本社経費の抑制により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が当初の予想を上回る見通しとなりました。さらに当期純利益は税効果会計の影響による法人税等の減少から上方修正となりました。この結果、当社が経営指標としております売上高経常利益率につきましては、当初業績予想発表時の3.1%から、修正後は4.3%に改善する見込みです。

・2022年3月期通期個別業績予想数値の修正

個別業績予想につきましても、連結業績予想の修正と同様の理由により修正しております。売上高は減収となりましたが、経常利益、当期純利益は予想を大きく上回り、上方修正となりました。

(注) 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後様々な不確定要因により、記載の数値と異なる可能性がありますことをご承知おきください。

3. 配当予想について

期末配当予想につきましては、2021年5月13日に公表した内容から変更はありません。
(1株当たり普通配当13円)

以 上